

迫桜高 Library ~ほんとの出会い~



令和8年6月26日 宮城県迫桜図書館 NO.2

前期中間考査が終わり、ほっとひと息ついている頃でしょうか。
梅雨空が続くこの季節は、気分も少し沈みがちになりますね…。
心がほっと和む本や気軽に楽しめる本を展示しています。
図書館でゆったりとした時間を過ごしてみませんか。

「読書感想文 課題図書」を紹介します



【図書館カレンダー】 ■・・・閉館日

6月	June	7月	July			
日	月	火	水	木	金	土
21	22	23	24	25	26	27
—	—	—	—	—	閉館	—
28	29	30	7/1	2	3	4
—	—	—	—	閉館	—	—
5	6	7	8	9	10	11
—	—	—	閉館	—	—	—
12	13	14	15	16	17	18
—	—	—	—	—	—	—
19	20	21	22	23	24	25
—	—	—	—	—	—	—

※急な変更もあります
※夏期休業の予定は後日お知らせします

気になる本は早めに借りましょう。貸出中のときは予約しましょう。

【平和のうぶごえ】

早志百合子 著

『原爆の子』の執筆者である被爆者たちが、長年支え合った仲間との歩みを振り返りながら、被爆者として生きた戦後80年の苦しみや願いを語り、「子どもと戦争」「平和」の大切さを問いかける。

【スウィッシュ】

藤ノ木優 著

運動音痴のキャプテンと骨折した絶対的エース。ふたりの絆が奇跡を起こす、号泣の青春バスケット小説。
スウィッシュとは、ボールがリングにまったく触れない完璧なシュートのこと。

【ノアハム・ガーデンズの家】

ペネロペ・ライヴリー 著

1970年代のオックスフォードで大おばたちと暮らす14歳のクリア。曾祖父が残した木の板を見つけたことをきっかけに、遠い地の人々の夢を見るようになり、日常が静かに揺らぎ始める。

図書委員が
セレクトする



図書委員がおすすめする本をリレー形式で展示・紹介するコーナーを作りました。
図書委員の「推し本」が次々と登場します。ぜひ手に取ってみてください。



私がおすすめする本は、

「子。—地球の運動について—」魚豊 作 小学館 です。

15世紀ヨーロッパを舞台に、異端とされた地動説に魅せられ、命がけで研究する人々の生きざまを描いた作品です。
宇宙だけでなく、人間の信念や生き方についても考えさせられます。哲学に興味がある人はもちろん、マンガなので読書が苦手な人にもおすすめです。
他にも、私が好きな作家の小説やエッセイを選びました。
ぜひ図書館で手に取ってみてください。

2年次図書委員 S・R



裏面に続く→

新しく入った本の紹介

0 総記 (情報 図書館 読書 書籍 事典など)

『司書教諭・学校司書のための図書館づくりアイデア
100』 勝呂由紀著
『本を読めなくなった人たち コスパとテキスト
メディアをめぐる現在形』 稲田豊史著◎

1 哲学 (心理学 占い 宗教 人生訓など)

『15歳から身につけたい「あえてひとり」を選べる力
進学・進路・仕事選びで、もう迷わない』 水野孝哉著☆

2 歴史 (日本と世界の歴史 地理 伝記など)

『ユダヤ人の歴史 古代の興亡から離散、ホロコースト、
シオニズムまで』 鶴見太郎著◎
『そうだったのか! 中東』 池上彰著◎
『ヒトラーとナチ・ドイツ』 石田勇治著◎

3 社会 (政治 法律 経済 職業 防災 民族文化など)

『もしも君の町がガザだったら』 高橋真樹著◎
『仮放免の子どもたち
「日本人ファースト」の標的』 池尾伸一 著◎
『ガザを知っていますか? ガザの真実を伝えようとした
記者モハammad・マンスール』 桑山紀彦 文◎
『人種は愉快的なジグソーパズル』 小手毬るい著◎
『大逆転の痴呆ケア』 和田行男 著◎
『学校のメンタルヘルス』 伊藤美奈子 著◎
『無敵化する若者たち』 金間大介 著◎

5 技術 (環境問題 機械 乗り物 建築 料理 裁縫など)

『教養としてのニッポン自動車産業史 ものづくり大国
を築いた企業と人の20世紀』 横田晃著

6 産業 (農業、林業、水産業、園芸、ペットの飼い方)

『いま知りたいお米と農家の話 農家と考える
米価・流通・田んぼの未来』 農山漁村文化協会 編
『魚屋の名店主が教えるおいしい魚まるみえ図鑑』
森田釣竿 監修

7 芸術 (絵画 書道 写真 音楽 スポーツなど)

『ブループランター2』 笹乃きい 著
『絵本と子どもと歩いた日々』 山本百合子著◎
『スポーツ・クリテック』 内田樹著◎
『サッカーと地政学 ゴールの先に世界が見える』
木崎伸也著◎

8 言語 (日本語 英語 韓国語など世界各国の言葉)

『知らない間に嫌われる言葉、話すたびに好かれる言葉』
つみきち著◎

9 文学 (詩 短歌 俳句 百人一首 エッセイ 小説など)

『夏目漱石「心」を読み直す』 小森陽一著◎
『星がすべて』 最果タヒ著

『ぼくがぼくであるために』 蒼沼洋人著◎
『アゲイン』 あんずゆき作◎
『54字の物語 未来』 氏田雄介著
『みつばの泉ちゃん』 小野寺史宜著◎
『明日、あたらしい歌をうたう』 角田光代著◎
『ヘルメットダイバーズ 北三陸高校海洋開発科』
小森陽一著◎
『咲良は上手に説明したい!』 滝沢志郎著
『謎の香りはパン屋から2』 土屋うさぎ著
『52ヘルツのクジラたち』 凧良ゆう著◎
『真昼にも星が光ると知ったのは』 梨屋アリエ著
『神の蝶、舞う果て』 上橋菜穂子著◎
『あたたかな手なのはな整骨院物語』 濱野京子著
『井台所のあるところ』 原田ひ香著◎
『すべてが円くなるように』 原田マハ著◎
『平和のうぶごえ「原爆の子」として生きた80年』
早志百合子著

『I』 道尾秀介著☆
『デモクラシーのいろは』 森絵都著◎
『遠野ものがたり』 宗任雅子 文◎
『青天』 若林正恭著◎
『きょうの枕草子』 最果タヒ著◎
『すべての人にいい人である必要なんてない』 キム・ユウン著
『ノアハム・ガーデンズの家』 ペネロピ・ライヴリー著
『17歳のピオトープ 幻冬舎文庫』 清水晴木著
『君はきっとまだ知らない スターツ出版文庫』 汐見夏衛著
『生きる言葉』 俵万智著◎
『そして誰もゆとらなくなった 文春文庫』 朝井リョウ著

☆リクエストされた図書 ◎寄贈された図書

お知らせ

本校 OB の柴山繁夫様 (若柳出身・東京在住) より、
『知らない間に嫌われる言葉、話すたびに好かれる言葉』を15冊ご寄贈いただきました。
朝読書用学級文庫で活用させていただきます。
この本は、相手に気持ちが伝わる言葉の選び方や話し方を紹介し、よりよい人間関係づくりのヒントを教えてください。
学級文庫のほかに図書館でも貸し出します。
ぜひ読んでみてください。

〈 スマートフォンやタブレットから利用できます! 〉



本の予約・リクエスト



本の検索